

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年11月末）

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年11月末）

- 被害認知件数は**106件**（前年同期比+20件）
- 被害総額は**約1億9,794万円**（前年同期比-約6,021万円）

2 令和4年11月の認知状況

- 被害認知件数は**7件**（前年同月比-2件）
- 被害額は**約994万円**（前年同月比-約1,491万円）
- 手口別の認知件数
 - ・ 架空料金請求詐欺 5件
 - ・ キャッシュカード詐欺盗 1件
 - ・ その他の詐欺 1件



3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年11月中）

県内において、個人の携帯電話に大手通信会社を名乗る者から電話があり、応対すると「有料サイトの利用料金●●万円が未払いになっている。」「携帯利用料金が未払いになっている。」「●●万円入金しないと裁判沙汰になる。」などというニセ電話詐欺（架空料金請求詐欺）の不審電話が複数件かかってきています。

通常、携帯電話に未登録の番号から着信があった際は、相手の番号が表示されますが、この事案は画面上に「不明」や「通知不可能」といった表示がなされています。

このような表示がされた電話には絶対出ないようにしましょう！

その他にも、県内各地で市役所職員を装った還付金詐欺の予兆電話も多発しています。

**電話でお金の話が出たらすぐに行動せず、
 まずは家族や警察に相談しましょう！**

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年11月末(人)		
	男性	女性	計
0 ~ 19	1	-	1
20 ~ 29	4	3	7
30 ~ 39	1	4	5
40 ~ 49	3	5	8
50 ~ 59	10	4	14
60 ~ 64	4	10	14
65 ~ 69	12	11	23
70 ~ 79	12	11	23
80 ~ 89	4	7	11
90 ~	-	-	-
合計	51	55	106
うち65歳以上の高齢者	28	29	57

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年11月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	42
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	6
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	3
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	52
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	106